

|              |   |   |  |  |
|--------------|---|---|--|--|
| 科目名<br>単位・時間 | 小児看護学 (5単位 180時間)   |   | 対象者  | 24期生・25期生  |
| 担当講師名        | 第二看護学科 専任教員(臨床経験有)<br>非常勤講師 キッコーマン総合病院 医師<br>非常勤講師 東葛医療福祉センター光陽園 看護師<br>非常勤講師 東葛医療福祉センター光陽園 社会福祉士   |   | 年次・時期  | 1年次～2年次  |
| 概要           | <p>人はひとりの人間として成長・発達をし続ける独自の存在です。看護の対象である人間理解のためには人間のライフサイクルをとらえながら学ぶことが大切です。このことをふまえて、小児看護学は専門分野Ⅱの中のひとつの分野として位置付けられています。</p> <p>小児看護学概論では、子どもの成長発達や子どもと家族を取り巻く環境について学びます。担当は、当校の専任教員が担当します。専任教員は全員5年以上の臨床経験をもっています。</p> <p>小児看護学援助論Ⅰでは小児期における主な疾患や様々な健康障害時に対応できる基本的な知識について、キッコーマン総合病院の小児科医師が担当します。また、健康障害をもつ子どもの看護の展開技術について、当校の専任教員が担当します。</p> <p>小児看護学援助論Ⅱでは、疾病・障害をもつ子どもの健康レベルを理解し、子どもと家族がその人らしく生活するために必要な看護を学びます。講師は、光陽園の看護師・社会福祉士・当校の専任教員が担当します。</p> |   |  |  |
| 科目構成         | 科目名   | 小児看護学概論   | 小児看護学援助論Ⅰ  | 小児看護学援助論Ⅱ  |
|              | 単位時間  | 1単位(30時間)   | 1単位(30時間)  | 1単位(30時間)  |
|              | 学習範囲  | 1. 小児看護の特徴と理念<br>2. 子どもの成長・発達<br>3. 各期の子どもの特徴<br>4. 子どもと家族を取り巻く環境<br>5. 小児看護における倫理  | 1. 小児の疾患と主な症状<br>2. 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護<br>3. 小児看護の展開技術 | 1. さまざまな状況にある子どもと家族への看護<br>2. 治療・処置・検査を受ける子どもの看護<br>3. 障害のある子どもと家族への支援 |
|              | 科目名   | 小児看護学実習Ⅰ  |  |  |
|              | 単位時間  | 1単位 45時間  |  |  |
|              | 概要  | <p>小児看護学実習Ⅰ—1では、保育所に通う健康な乳幼児との関わりを通して、成長発達過程や日常生活および基本的生活習慣の獲得への援助方法、遊びの意義や安全に配慮した環境・健康管理について学びます。野田市内の保育所の所長及び保育士が指導にあたります。</p> <p>小児看護学実習Ⅰ—2では、障害のある子どもの成長する力やその子らしく生きる力を支援する看護を学ぶ実習です。光陽園の臨地実習指導者及び看護師が指導にあたります。</p> |  |  |
|              | 科目名   | 小児看護学実習Ⅱ  |  |  |
|              | 単位時間  | 1単位 45時間  |  |  |
|              | 概要  | <p>小児看護学実習Ⅱでは、入院が子どもと家族に及ぼす影響を考えながら、日常生活上の苦痛を軽減し、子どもの成長・発達過程をふまえた健康の維持・増進、回復や疾病予防のための看護を学びます。当校専任教員が指導にあたりるとともに、松戸市立総合医療センター・千葉県こども病院・船橋市立医療センターの臨地実習指導者及びスタッフが指導にあたります。</p>  |  |  |